

平成27年度第3回「墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会」・
「墨田区子ども・子育て会議」議事要旨

日時：平成27年9月18日（火）午後6時30分～8時30分

会場：曳舟文化センター レクリエーションホール

次 第

- 1 開会
- 2 委員紹介 （資料1・2）
- 3 会長及び副会長選任
- 4 議題

議 題	資料
(1) 事業計画における評価指標及び各事業の検証方法について	資料3・4
(2) これまでの各ワーキンググループの検討状況報告	資料5・6
(3) 各ワーキンググループに分かれ、それぞれの検討課題やスケジュールについて確認	

- 5 その他
- 6 次回開催予定
日 時：平成27年11月17日（火）午後6時30分～8時30分
会 場：すみだ女性センター 3階ホール
主な議題：平成28年度におけるニーズ調査の実施について
- 7 閉会

配布資料

- 資料1 平成27年度「墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会」及び「墨田区子ども・子育て会議」委員名簿
- 資料2 墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会に関する要綱
墨田区子ども・子育て会議条例
- 資料3 墨田区次世代育成支援行動計画 墨田区子ども・子育て支援事業計画における5年後の将来像及び評価指標の検証について
- 資料4 計画の評価のためのグループヒアリング
- 追加資料 平成27年度「墨田区次世代育成支援行動計画」及び「墨田区子ども・子育て会議」、各ワーキンググループのスケジュール（案）
- 追加資料 公開保育実施に関する打ち合わせメモ
- 資料5 墨田区における放課後子ども総合プランの推進について
- 資料6 放課後子ども総合プランに関する現状について
- 参考資料 すみだ女性センター案内図
- 参考資料 「第171回すみだ文化講座 教育紙芝居発祥の地すみだ」の案内チラシ
- 追加参考 「児童虐待防止講演会 本当に支援を必要としている人に情報は届いているか」の案内チラシ
- 追加参考 「子育て講演会と養育家庭体験発表会 傾聴の力」の案内チラシ

出席者(敬称略)

委員

大豆生田 啓友(玉川大学教育学部乳幼児発達学科教授)
野原 健治(興望館館長)
高嶋 景子(田園調布学園大学子ども未来学部子ども未来学科准教授)
長田 朋久(横川さくら保育園長)
西島 由美(にしじま小児科院長)
杉浦 浄澄(江東学園幼稚園副園長)
服部 榮(社会福祉法人 雲柱社理事長)
伊丹 桂(文花子育てひろば施設長)
押田 剛(主任児童委員)
相澤 しのぶ(立花吾孀の森小学校 PTA 会長)
佐瀬 一夫(中学校 PTA 連合会会長)
内田 淳(青少年委員協議会委員)
新木 真理子(ひまわり保育園施設長)
賀川 祐二(NPO 法人 病児保育を作る会代表理事)
貞松 成(株式会社 global bridge 代表取締役)
熱田 美帆(公募)
木村 律子(公募)
小林 佳香(公募)
佐藤 摩耶子(公募)
荘司 美幸(公募)
関 麻衣子(公募)
陳 晨(公募)
近藤 ゆき江(八広幼稚園長)
保坂 登(緑小学校長)
田谷 至克(寺島中学校長)
青塚 史子(八広保育園長)

< 欠席委員 >

森 八一(青少年育成委員会連絡協議会副会長)
小菅 崇行(小菅株式会社代表取締役会長)
中村 信幸(連合墨田地区協議会会長)
本多 美絵子(両国幼稚園副園長)

< 傍聴 >

2名(女性2名)

課長出席者

青木 剛(福祉保健部長)、石井 秀和(子ども・子育て支援担当部長)、佐瀬 一葉(向島保健センター所長【保健衛生担当部長代理】)、小倉 孝弘(子育て支援課長)、杉崎 和洋(子ども課長)、村田 里美(子育て支援総合センター館長)、後藤隆宏(教育委員会事務局次長)

事務局出席者

柿畑・坂田・岩崎・浦辺・遠藤・戸村・田村・酒井

事務局(株)地域総合計画研究所)

大鹿、佐々木、片野

1 開会

事務局	<p>これより開催する。</p> <p>委員の出席状況について、現時点で 30 名の内、過半数以上が出席しており、定足数を満たしているため、会議は有効に成立している。傍聴者の出席、記録用の写真撮影と録音を了承願いたい。</p> <p>今回は委員任期の最初の会議になることから、委嘱状は机上配付としている。任期は平成 27 年 8 月 23 日から平成 29 年 8 月 22 日となる。</p>
-----	---

2 委員紹介

事務局	<p>(事務局より各委員の紹介)</p> <p>委員名簿に所属するワーキンググループ(以下、WG)を記している。既に WG を開催していることから、長田委員と服部委員をそれぞれの WG 長とさせていただいている。</p>
-----	--

3 会長及び副会長選任

事務局	<p>墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会に関する要綱及び墨田区子ども・子育て会議条例に基づき、会長と副会長を選任いただきたい。なお、選任された方は、両会議体の会長と副会長を兼任いただく。</p> <p>まず、会長について、どなたかから推薦いただきたいが、いかがか。</p>
委員	<p>大豆生田委員を会長として推薦したい。</p>
事務局	<p>大豆生田委員の会長選任について、いかがか。(拍手あり)</p> <p>では、賛成が得られたということで大豆生田委員に会長をお願いしたい。</p> <p>続いて、副会長について、どなたかから推薦はいかがか。(特に意見なし)</p> <p>では、大豆生田会長より推薦いただきたい。</p>
会長	<p>野原委員を副会長として推薦したい。</p>
事務局	<p>野原委員の副会長選任について、いかがか。(拍手あり)</p> <p>では、賛成が得られたということで野原委員に副会長をお願いしたい。</p>
会長	<p>(会長より挨拶)</p>

4 議題

(1) 事業計画における評価指標及び各事業の検証方法について

事務局	<p>(資料 3 について説明)</p>
会長	<p>(資料 4 について説明)</p> <p>何名かでチームを作ってください、検討を進めていただければと考えている。</p>

委員	幼児へのヒアリングは5歳児ということになるか。
会長	海外では4歳児へのヒアリングを行っている。こうした点も可能かどうか検討いただきたい。
委員	「子どもが欲しいか」や「墨田区に住み続けたいか」のヒアリングは、幼稚園児や小学生より中学生にヒアリングしたらどうか。
会長	事務局はどう考えているか。
事務局	アンケート調査で中学生に聞くことから、ヒアリングに中学生は入れない予定である。
委員	内容からして小学生では難しく、中学生にならないと分からないのではないか。
委員	中学生だと墨田区と他区の違いが認識できる年頃だろう。
委員	アンケート調査において、中学生と高校生は学校に依頼して多くの生徒に調査をお願いするだろう。乳幼児と小学生は保護者へ調査を予定しているが、実際に子どもはどうかという考えからヒアリングの案を提示している。中学生や高校生に聞かないわけではない。
会長	評価指標が決まっているため、それに沿って聞くこととしているが、子どもたちに合った聞き方も検討していただきたい。
委員	アンケート調査は限られた項目となる。中学生だと墨田区を意識するため、ある程度、可能な年齢に対して行うべきではないか。
委員	中高生へヒアリング調査を実施することで検討できないか。
事務局	時間的なことや実施方法もあるが、前向きに検討したい。
委員	小学生も学年で異なる。その部分をどうアンケートで反映させるか考える必要があるだろう。
委員	どの学校や園を対象とするか、その対象をどこにするかで答えは異なる。希望する回答はやり方によって出るだろう。
会長	どこに聞くか、バランスも考えて検討しなければならないだろう。
委員	子どもに子どもが欲しいかと聞いても観念的なことしか出てこない。この調査は墨田区がどれだけ住みやすいかを聞きたいのだろう。本当に子どもが欲しいかどうかを聞きたいのであれば、大学生に聞いたり成人式の場で聞いた方が良い。
委員	聞き方次第だろう。大人の方で発言内容も異なるため、聞き手の方が気を付けないといけない。1時間程度も長いのではないか。具体的に聞いてあげないと、生活についても分かりにくいだろう。
会長	この設問をそのまま聞くわけではなく、こうした内容を聞くとしている。また、1時間程度とは小学生を想定していたが、幼児は個別になり、もう少し短くなるだろう。
委員	外国人の子どもにとっては、やっと国の違いが理解できたところだが、区までは分からないだろう。 実施体制としては、園の先生や児童館の職員から協力を得るのか。また、保育園等に通っていない子どもも対象となるのか。
会長	もともとは保育園や幼稚園を考えていたため、その園の先生たちを想定している。
委員	実施について、すみだ祭りには保育園や幼稚園に通っている家庭や、自宅で育児をしている家庭など多くいるため、祭りの場で実施してはどうか。
委員	5歳児が墨田区をどう捉えているか、また、将来、大人になって子どもを持つイメージを持っているかどうか興味はある。見当外れの回答でも対策を考える必要はあるだろう。

	ただし、聞き方は難しいし、その対象にも同じ内容で質問できるかどうか、怖い一面もある。小学生でグループヒアリングを行っても、他者の意見に影響されないかどうか。小学生でも個別に聞いた方が、その子の考えをきちんと聞けるのではないか。
委員	世代別にどう変化があるのかを見ていくには良いだろう。また、子どもたちに、「お父さんやお母さんは子育てを楽しそうにしているか」や「お母さんは孤立しているような感じはあるか」といったような質問もあれば良いのではないか。
委員	児童館や学童クラブを利用しているか否かで環境などが異なるため、回答に違いが出てくるだろう。両方からバランス良く聞けた方が良いのではないか。
委員	子どもは墨田区をまだ良く知っていない状況にある。また、子どもから見た大人の質問については、具体的なことを聞くことにより子どもの本音が出てくるのではないか。
会長	内容等については、出された意見を踏まえながらチームで検討いただきたい。チームについては、会長と副会長、事務局で検討し、依頼があった場合は承諾いただきたいが、いかがか。(特に意見なし) 自ら申し出ていただける方もいらっしゃれば、お願いしたい。

(2)これまでの各ワーキンググループの検討状況報告

委員 事務局	(資料5・6について説明)
委員	学童クラブと放課後子ども教室の責任者は誰か。
事務局	放課後子ども教室は、それぞれで運営委員会を作ってもらい、そこに運営を委託して実施しているため、最終的な責任は教育委員会となる。
委員	放課後に勉強を教えるというのは、学校の勉強とは別なものになるのか。
事務局	放課後に勉強しているパターンは、学校の延長線上で学力向上のため外部講師等によるものと、地域の方による宿題等を見るものの2パターンある。
委員	そうした放課後の勉強の有無で学校間に差は出ないのか。
事務局	学校主体で行っている放課後の勉強は、学校の勉強の延長線上であり、全校で実施している。地域の方によるものは、地域の事情があるため、実施はまちまちである。 放課後子ども教室は地域が主体で実施することを主眼としていたため、地域によって実施の有無は異なるが、従来通りやっていたところは継続していただきたい。
委員	小学校を選ぶ際、学童クラブが遠いのはマイナスポイントである。小学1年生が遠くまで歩いて通うのには不安を感じる。可能な限り、学校の中や学校の近くに学童クラブを設置してほしい。
事務局	そのように考えているが、区内の人口増加により教室が足りないこともあるため校外に作るしかないが、極力、学校に近い場所に設置する配慮をしたい。なお、学区内に学童クラブがなくとも、隣の学区にはなるが、実際には近くにある場合もある。
委員	今年から第四吾妻小学校に学童クラブができたが、学童クラブがあることにより良い影響があるだろう。
委員	平成23年度から校庭開放型事業を実施してきたが、いきいきスクールを9月から本格的に始めた。いきいきスクールに移行したことにより、校庭だけでなく体育館も使用できることになり、雨天の場合でも活動できるが、広さの関係から学年で分けて実施していき

	たい。また、10月から復習や宿題を中心に勉強をみることも予定している。
委員	(配布資料に基づいて協同的な学びプロジェクトを説明)
会長	特に意見等はないか。(特に意見なし)

(3)各ワーキンググループに分かれ、それぞれの検討課題やスケジュールについて確認

<乳幼児ワーキンググループ>

委員：会長、高嶋委員、長田委員、西島委員、杉浦委員、伊丹委員、新木委員、賀川委員、貞松委員、木村委員、小林委員、佐藤委員、荘司委員、関委員、陳委員、近藤委員、青塚委員

子ども主体の協同的な学びプロジェクトについて

	(各委員の自己紹介)
委員	<p>現在は、質の向上の取り組みを行っている。乳幼児 WG に専門委員会を設け、子ども主体の協同的な学びプロジェクトとして動いており、公開保育を行う流れである。3月には4園の報告会を開催する予定である。</p> <p>他の保育園や幼稚園の取り組みを見るチャンスがないため、乳幼児 WG のメンバーにも公開保育の場に参加して、お互いに協同的な学びの場として参加して欲しい。開催日が近づいているが、事務局で案内を作成して各自に配布する。</p> <p>公開保育の内容を踏まえ、来年度に向けて墨田区の保育の向上の取り組みにつなげていけるか検討していく。また、保育園の入所の基準、保育料、保育園の数などを話し合う場を設け、区の方の施策に反映させていきたい。</p>

子育て支援ネットワークづくりについて

委員	<p>子育て支援ネットワークづくりについては、何も議論を行っていない。墨田区でも、認定こども園が増えてくるし、小規模保育所もいくつかできており、保育ママも充実し、企業所内保育所も今後はあり得る。</p> <p>さまざまな施策の展開の中で、それぞれがネットワークを構築し、情報を共有し合い、もれなく子育て支援で悩みや不安を抱えている人が安心して子どもを産み育てられる区にしていくため、どのように横の連携を図るか、どのようなアイデアがあるのかは今後の大きな課題であり、意見を出していただきたい。</p>
----	---

今後の予定について

委員	<p>子ども・子育て会議の親会議の他に、乳幼児 WG の会議が入る。乳幼児 WG だけで集まり、会議を開催することもある。</p> <p>10月中に、主として子育て支援ネットワークづくりについて乳幼児 WG を開催する予定であり、再度、連絡する。</p>
----	---

<学齢ワーキンググループ>

委員：野原委員、服部委員、押田委員、相澤委員、佐瀬委員、内田委員、熱田委員、保坂委員、田谷委員

委員	これまで児童館や学童クラブ、子どもたちの放課後の安全安心について協議してきた。それに、放課後子ども教室を加えた3つについて検討していきたい。
委員	計画書にある学齢WGに関する事項について、まず、児童館の機能やあり方を検討していくとしている。また、学童クラブを含めた職員の質について、支援員の研修以外にどのように高めていくのか、児童館と学童クラブのそれぞれの連絡会をいつ、どのように立ち上げるのかについて検討が必要である。さらに、放課後子ども総合プランについても、推進協議会を立ち上げて検討していくとしているが、その協議会の設立についても検討していくこととなる。 基調となるのは放課後と健全育成で、検討の中でそれぞれ出てくると考えられる。
委員	一体型を意識した取り組みということで、今後、一緒に検討していきたい。
委員	全体的な課題と早急に対応する部分的な課題に分けて、検討した方が良い。
委員	立花吾妻の森小学校のいきいきスクールでも、児童館と連携して取り組んでいこうとしている。そのようにできて行ければ、墨田区でも子どもがより安心できるだろう。
委員	以前、第四吾妻小学校のPTA会長時に校庭開放型を実施した。PTAが中心でも地域の方々に協力いただければ良い。また、学童との一体型も実現できれば良い。
委員	昔のいきいきスクールと現在のいきいきスクールの違いを明確にした方が、青少年委員には受け入れやすい。
委員	子どもの安心安全が高まり、かつ、子どもが窮屈になり過ぎず、理想の在り方に向かっていければ良い。
委員	資料6の児童館と学童クラブの表について、地図で表した方が分かりやすいが、作成してくれるのか。
委員	必要にはなるだろう。
事務局	事務局で検討していきたい。
委員	学齢WGに児童館や学童クラブの職員に来てもらい、意見を伺っても良いのではないか。
委員	学校自由選択制についての議論はどうなっているのか。
事務局	教育委員会の議論において、小学校は様々な事件等もあることから範囲を狭めようとしている。実施の時期は明確ではないが、選択制をなくす議論はしていない。

5 その他

事務局	(子育て講演会及び児童虐待防止講演会の開催について案内)
-----	------------------------------

6 次回開催予定

事務局	今回は11月17日(火)午後6時30分より、すみだ女性センターにて行う。
会長	以上で、閉会とする。

以上